

国際・国際交流

国際・国際交流

【国際理解・国際協力】

※対象者・活動可能地域に関する注は3ページ

管理番号 フリガナ 氏名 生年または結成年 居住地	職業・役職・肩書き等 活動に関する資格等	経歴	活動内容	過去の講演・実技等のテーマ		
				対象者	活動可能地域	
					市内	市外
45 ケヤ ケイジ 榎谷 圭司 1958	新潟県立大学 国際地域学部長、教授	1986年より新潟大学講師・准教授、2011年より新潟県立大学教授、2013年より同大学国際交流センター長、2017年より国際地域学部長。専門は地理学、東アジア地誌。近年の研究対象は、東アジア(中国)の都市における生活空間。	・北京の古い街並みの移り変わり と庶民の暮らし などのテーマで、毎年現地で行っているヒアリング調査の結果を中心に、最新事情を紹介します。	高,青,成,齡, 男,女	全市	三,新,加,燕, 五,阿,胎
297 ゴテンギ ヒロキ 五傳木 浩樹 1965 西蒲区	新潟市美術協会理事(事務局長)、新潟県美術家連盟理事、新潟県彫刻会会員(事務局長)、日本美術家連盟会員 小学校教諭専修免許状、中学校教諭(美術)専修免許状、高等学校教諭(美術)専修免許状、社会教育主事、博物館学芸員、学校図書館司書教諭	・公立高等学校美術教諭として教鞭を執る。 ・JICA(独立行政法人国際協力機構)JOCV(青年海外協力隊)ジンバブエ 小学校教諭(美術)として首都ハラレ Highlands School 専任美術教師。Seke Teachers College 美術講座講師として活動する。 ・各種展覧会、コンクール審査員を歴任する。 ・講演会講師、パネリスト、美術講座講師を歴任する。	・美術講座講師(絵画・デザイン・版画・彫刻 他) ・美術講演会講師 ・展覧会・コンクール審査員 ・国際理解・国際協力講演会講師	●H30～R2 市民向け講座『頭像彫塑講座～造形技法と石膏取りの実際』	全て	全市 三,新,加,燕, 五,阿,胎
10 ササキ ヒロシ 佐々木 寛 1966 中央区	新潟国際情報大学 国際学部教授	中央大学大学院修了後、新潟国際情報大学専任講師(2000年)、2008年より現職。その間、アメリカカリフォルニア大学バークレー校客員研究員(2008-09年)など。	地域における発電事業、「おらっぺにいがた市民エネルギー協議会」代表理事。新潟県原発検証委員会、避難委員会副委員長。「新潟国際ボランティアセンター(NVC)」運営委員。	多数。HP参照。	全て	全市 三,新,加,燕, 五,阿,胎
98 サトウ ヤスキ 佐藤 康行 1953 西区	新潟大学人文社会科学系フェロー 専門社会調査士・博士(教育学)、教育学名誉博士(タイ国スリン地域総合大学)	新潟大学人文社会学部助手、助教、教授を経て、2009年から新潟大学大学院現代社会文化研究科教授を経て、2019年度から新潟大学人文社会科学系フェロー	自治会や集落、地域団体など地域住民組織が高齢者福祉・環境保全・都市農村交流などで、どのような地域づくりを展開しているか、人びとのつながりの構築という点に注目して、日本とタイの地域社会研究をしている。		全て	全市 三,新,加,燕, 五,阿,胎

【国際理解・国際協力】

※対象者・活動可能地域に関する注は3ページ

管理番号 フリガナ 氏名 生年または結成年 居住地	職業・役職・肩書き等	経歴	活動内容	過去の講演・実技等のテーマ			
	活動に関する資格等			対象者	活動可能地域 市内 市外		
176 中村 潔 1956	新潟大学人文学部 教授	新潟大学 人文学部、講師、 1990年04月～1992年03月 新潟大学 人文学部、助教授、 1992年04月～2001年01月 新潟大学 人文学部 社会情報 論講座、教授、2001年02月～ 2010年03月 新潟大学 人文学部 人文学科、 教授、2010年04月～ 継続中	1982-1984: パリ州ウダヤナ大学 留学 1985-1988: パリ州およびマルク州 にてフィールドワーク 長期調査で得られた資料にもと づき、パリのヒンドゥー教徒の共同 体の記述を、土地の共同体的保 有と儀礼の関係やパリの伝統文 化の変容を通じて試みる。 その後も、短期の調査を続けてい る。	●H30 人類学者は何をしているの か、“Spau Compression” and “Compressed Modernity”: a Balinese Case	全て		
215 奈良 正篤 1954	ドリリング・エンジニア(石油ガス井掘 さと仕上げの技術者)	1976年 3月 秋田大学鉱山学部 ／1976年 4月 帝国石油入社 1993年-1995年 ドリリング・スー パーインテント(作井課長)西 トンハイ石油(主な勤務地、中国 温州)／2008年 6月-9月 イラク 人研修生教育担当／2019年 3 月 定年退職	2016年頃 本邦石油掘削史略 (石油技術協会誌第81巻第6 号)の執筆と説明(ポスター発表)	●R1 第11回市民講演会「新津油 田金津鉱場跡」の史跡指定を祝し て、新津油田に見る石油掘削の移り 変わり	全て	東,中,江,秋, 南,西,蒲	三,加,燕,五,
278 西沢 翔 1955	英語教育コンサルタント(英語の generalist)、JAPANサッカーカレッジ 非常勤講師、エッセイスト、元NHK 文化センター講師、新潟日報カル チャースクール講師 他	明治大学文学部英米文学専攻 卒、横浜市立新井中学校教諭、 新潟第一中学・高等学校教諭、 開志学園高校非常勤講師、JA PANサッカーカレッジ高等部非常 勤講師、MOONRIVER English Academy主宰、NHK文化セン ター新潟校講師、新潟日報カル チャースクール講師、駅前カル チャーセンター講師、NHK新潟放 送局ラジオ・テレビ番組出演、阿 賀北ロマン賞特別選考員、文芸 しばた運営委員	学研「スーパーアンカー英語辞典」 執筆者、NHK新潟放送局ローカ ルテレビ番組コーナー「にいがた English Café」担当、JAPANサッ カーカレッジ高等部非常勤講師、 「阿賀北ロマン賞」(敬和学園大 学主催地方文学賞)一次選考 委員、「文芸しばた」運営委員、 エッセイ作品「エイゴのころ」(連 載)、電子書籍「やっぱり英語はお もしろい!」、「目からウロコ! 英 語歳時記101」など。その他翻訳 作品「ビジネスネゴシエーションの 鉄則101」、英語情報誌「English Journal」、コラム「エイゴのころ」 連載、新潟日報夕刊コラム「晴雨 計」連載。	●H29 「地域、そして自分からの国際 化」 ●H30 「生活英語プラスで人生に潤 いを」 ●H30～R1 「気軽にエッセイを書こ う!」講座	全て	全市	三,新,加,燕, 五,阿,胎
144 長谷川 実 1946	英検2級、漢検2級	1971～1972年、アメリカ南カリロイ ナ州チャールストンに留学。2009 年機械商社を退社。2009～ 2010年NSGエアリゾート専門学 校で日本語講師。2010～2011 中国南京信息工程大学で日本 語教師 2016、2017年クロスバ ル新潟で「日本語ボランティア養成 講座」を開講。	日本語を母語としない人達に、日 本語を指導する際の基本的な知 識や技術を身につけてもらう講 座。生涯学習としてボランティアで 日本語を教えることに関心のある 人たちへの講座です。国際理解・ 国際交流・異文化に関心のある 人たち向け。年齢性別は問いませ ん。	●H30～R2 日本語ボランティア養成 講座	成	全市	三,新,加,燕, 五,阿,胎
185 保坂 口三 1965	外国語講師、通訳	PONTIFICIA UNIVERSIDA D CATOLICAで教育学部を卒 業後、結婚のため来日。スペイン 語を公民館などで教える。スペ インマドリッド大学院教育学部 にて、「日本人学生に提案する再帰 動詞」の研究で修士号取得 (MBA)。	言語ガイドで子ども英語を教えて います。スペイン語も教えていま す。保育園で英語を教えていま す。日本語→ポルトガル語、英語 →スペイン語 江南警察署の協議会委員も務 めていました。日本語・英西通 訳、DELE審査官もしています。 朱鷺メッセ外国人相談センター 新潟の相談通訳者をしています。昨 年は、新潟県の農業青年等国際 交流推進事業研修での通訳、新 潟県警察本部国際犯罪捜査実 務専科通訳人を介した取り調べ 実習に、通訳として参加しました。		全て	全市	新,阿,

【国際理解・国際協力】

※対象者・活動可能地域に関する注は3ページ

管理番号 フリガナ 氏名 生年または結成年 居住地	職業・役職・肩書き等	経歴	活動内容	過去の講演・実技等のテーマ		
	活動に関する資格等			対象者	活動可能地域 市内 市外	
105	ファイ・オ・ケアプロアケア フラストジオ 主宰	平成18年よりハワイのクムフラ(師匠)に師事し日本とハワイにて直接指導を受ける。フラの世界大会キング・カメハメハ フラコンペティション出場、カヒコ(古典フラ)部門入賞。平成29年にはフラ最高峰の大会メリーモナーク フラフェスティバル出場。	ハワイの伝統芸能フラを通して日々の生活を豊かにする。体を動かして踊りを見るだけに留まらず、ハワイの歴史を学んだり課題曲をハワイ語で歌いウクレレを弾いたりハワイ文化の多岐にわたる。発表の場も多く、華やかなドレスやお花を身にまとい練習の成果を披露できる。			
マツイ ヒロミ 松井 宏美 1968						
160	(株)新潟TLO代表取締役、(株)UniBio(ユニバイオ)代表取締役	新潟大学S40卒業、(株)荏原製作所入社。米国駐在16年間、中国駐在4年間。(株)新潟TLO社長H16～現在、(株)UniBio H23(株)UniBio設立。海外とのビジネス経験(約30年間)を生かし、産学官連携の仕事をH16より継続するなかで新潟県に植物バイオの技術を導入し、産業活性化、革新技術を通じ地方創生に貢献したい。	20年以上の海外生活で経験した異文化の中でいろいろな人種、国籍の人たちと如何に仲良く仕事をしていくかを米国、中東、中国、東欧の人々と経験しました。H16年以来、産学官の連携の仕事を通じ、新潟県の若い人達に新しい産業(植物バイオの技術)を通じ、地方活性化に取り組んで来ています。新しい化粧品原料や再生医療に用いる、アニマルフリーの試薬開発と製造・販売の活動と産学官連携実施中。			
17キ ヨウジ 結城 洋司 1942				特になし。過去に新潟大学客員教授を経験。産学連携を通じ、文部科学大臣賞受賞(H18)	成.齡.男.女	全市